

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 4日		～ 2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 2月 5日		～ 2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や地域・学校・相談支援事業者・療育病院と連携が取れています。一人ひとりに必要な両育や対応を心がけています。	保護者や利用児童のニーズや発達に合わせて、支援しています。積極的に連携をおこない、成長を共有できる環境を作っています。	今後も連携を取り、情報共有や成長を共有し、利用児童はもちろん保護者にとっても安心して通うことができる事業所により一層していきます。
2	防災や避難訓練に力を入れております。	いざ、という時に、児童が自分でよりよい判断し行動ができるような訓練をしています。避難訓練はもちろん、公衆電話を実際に使ったり、防災クッキングをおこなっています。	利用児童や職員だけでなく、保護者にも避難訓練に参加できるように考えています。
3	楽しみながら療育をおこなうこと。	子どもたちが「やってみたい」「楽しい」と思う療育を提供し、無理なく楽しみながら苦手なことも挑戦できる環境作りをしています。また、得意なことをより伸ばすことができるような環境を設定しています。	今までのように、苦手なことを無理にさせることなく、楽しみながらチャレンジできる環境を作り、できることを少しずつ増やすことで自己肯定感を高めることができるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の機会を増やす。	今年度は1回保護者会(茶話会)をおこないました。保護者の皆様の悩み事など、職員目線だけでなく、保護者同士の目線で話あうことが出来て好評でした。回数を増やしてほしいと要望が多かったので、今後増やしていきたいです。	土曜日におこなったので、土曜日に働いている保護者の皆様は参加できませんでした。平日におこなう機会を設けたり、保護者会だけではなく、レクリエーション活動もできたら良いと考えております。
2	職員同士の話し合いは毎日できているが、パート職員やドライバーとの話し合いができる時間が短い。(児童をご自宅へ送った後に現在は話し合いの時間を設けています。)	研修はパート職員、ドライバーも参加できるよう時間の捻出をしております。日頃の話し合いは、引き継ぎや必要に応じて話し合いをしていますが、学校の下校時間に合わせて勤務確保をしているので、引き継ぎの時間が短くなってしまっているのが現状です。	パート職員やドライバーとの話し合いのための時間の確保をおこなってきたい。
3	外部の研修に行く機会が少ない。	内部の研修はおこなっていますが、外部の研修に行く機会が少ない。職員の人数を増やさないと、研修に行くことが難しい。	療育時間や送迎時間にかぶらない時間帯の研修(ZOOM)などの質の良い研修を探しています。内部研修にも力を入れていきます。